

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床医学論(講義)
担 当 教 員	泉谷 泰行
科 目 名 (中 項 目)	臨床医学論
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床において、患者に対して質の高い医療を提供するためには、疾患に関する東洋医学的側面からの理解だけではなく、同様に現代医学的側面からの知識も基盤に持ち、目の前の患者の病態を正しく理解することが必要不可欠である。そこで、本講義では、各領域の主要な疾患の「病態生理」・「症候」・「検査と治療」について学習する。
到 達 目 標	各疾患の病態のメカニズムについて解剖学・生理学の知識を基盤として理解し説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。

教育・実務業績

1. 担当科目における教育上の業績

平成20年4月～平成21年3月

日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師

臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。

平成20年4月～平成22年3月

バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師

免疫学を担当する。

平成20年4月～平成28年3月

京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師

生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。

平成25年1月～令和2年3月

京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師

臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。

平成26年10月～平成31年3月

大和大学保健医療学部非常勤講師

解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。

平成28年4月～令和4年3月

宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師

解剖学・生理学などを担当する。

平成28年4月～令和2年3月

大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師

人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。

令和2年4月～

大阪青山大学健康科学部看護学科教員

解剖生理学・病理病態学などを担当する。

令和6年4月～現在

園田学園女子大学

2. 実務上の業績(臨床経験等)

平成22年4月～平成24年3月

Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍

平成24年4月～平成25年9月

京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍

平成25年4月～平成27年3月

大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍

平成25年4月～平成30年3月

センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

3. 研究実績

鍼灸学修士 明治鍼灸大学大学院

医学博士 京都府立医科大学大学院

1 項 目	呼吸器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	呼吸器系の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
2 項 目	呼吸器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	呼吸器系の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
3 項 目	循環器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	循環器系の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
4 項 目	循環器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	循環器系の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
5 項 目	消化器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	消化器系の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
6 項 目	消化器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	消化器系の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
7 項 目	肝臓・胆のう・膵臓①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	肝臓・胆のう・膵臓の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
8 項 目	肝臓・胆のう・膵臓②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	肝臓・胆のう・膵臓の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
9 項 目	内分泌系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	内分泌系の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
10 項 目	内分泌系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	内分泌系の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
11 項 目	泌尿器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	泌尿器系の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
12 項 目	泌尿器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	泌尿器系の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
13 項 目	神経系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	神経系の症候について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
14 項 目	神経系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	神経系の検査・治療について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
15 項 目	総復習 評価
学 習 目 標・ポ イ ン ト	第1回～14回までの総復習
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床医学論(演習)
担 当 教 員	泉谷 泰行
科 目 名 (中 項 目)	臨床医学論
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床において、患者に対して質の高い医療を提供するためには、疾患に関する東洋医学的側面からの理解だけではなく、同様に現代医学的側面からの知識も基盤に持ち、目の前の患者の病態を正しく理解することが必要不可欠である。そこで、本講義では、各領域の主要な疾患の「病態生理」・「症候」・「検査と治療」について学習する。
到 達 目 標	各疾患の病態のメカニズムについて解剖学・生理学の知識を基盤として理解し説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医専専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～令和4年3月 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 令和2年4月～ 大阪青山大学健康科学部看護学科教員 解剖生理学・病理病態学などを担当する。 令和6年～ 岡田学園女子大学 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍 3. 研究実績 鍼灸学修士 明治鍼灸大学大学院 医学博士 京都府立医科大学大学院

1 項 目	呼吸器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	呼吸器感染症・換気障害(閉塞性・拘束性)について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
2 項 目	呼吸器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	肺腫瘍・肺循環疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
3 項 目	循環器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	心不全・虚血性心疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
4 項 目	循環器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	心臓弁膜症・先天性心疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
5 項 目	消化器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	食道疾患・胃十二指腸疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
6 項 目	消化器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	大腸疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
7 項 目	肝臓・胆のう・膵臓①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	肝炎・肝硬変・肝臓癌について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
8 項 目	肝臓・胆のう・膵臓②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	胆道疾患・膵疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
9 項 目	内分泌系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	視床下部・下垂体・甲状腺疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
10 項 目	内分泌系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	副甲状腺・副腎疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
11 項 目	泌尿器系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	糸球体疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
12 項 目	泌尿器系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	腎不全について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
13 項 目	神経系①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脳血管障害について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
14 項 目	神経系②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	神経変性疾患・脱髄性疾患について学習する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
15 項 目	総復習 評価
学 習 目 標・ポ イ ン ト	第1回～14回までの総復習
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	リハビリテーション医学(講義)
担 当 教 員	鍵 隆
カ リ キ ュ ラ ム 名	社会医学特論
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	徒手検査や動作から病態を把握できる知識技術の習得。 また、各疾患の運動療法の知識を習得する。
到 達 目 標	徒手検査法や運動療法を指導できるようになることを目指す。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内筆記50%及び授業内実技試験50%の合計の100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 H18～23年4月 行岡リハビリテーション専門学校において理学療法研究論講義を担当 H18～現在 平成医療学園専門学校においてリハビリテーション医学を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 1. 大阪府済生会中津病院リハビリテーションセンター勤務 約10年 2. 医療法人 前田整形外科勤務 約20年 3. 同法人関連整骨院 院長として勤務 3. 研究業績

1 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		評価法概論、ジャクソン、スパーリング
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法評価法 鍼灸療法技術ガイド
2 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		イートン、モーリー、触察前斜角筋腕神経叢、IDストレッチ前斜角筋
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
3 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		ライト、アドソン
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
4 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		頸椎術後理学療法、エデン、ルース、触察頸部骨
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド、整形外科疾患の理学療法、骨格筋の形と触察法
5 項	目	運動療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト		肩こり
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		整形外科疾患の理学療法
6 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		触察頸部筋
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		骨格筋の形と触察法
7 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		ROM: 頸反射、DTR: 上腕二頭筋、上腕三頭筋、筋力: 上腕二頭筋、上腕三頭筋、AKA 触察
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
8 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		ニュートン、SLR、ブラガード、ラセーグ、ボンネット、FNS
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド、理学療法評価法
9 項	目	運動療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト		腰痛、腰痛体操、カリエ腰痛体操
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		整形外科疾患の理学療法
10 項	目	復習
学 習 目 標・ポ イ ン ト		前期復習
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		整形外科疾患の理学療法
11 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		トーマス、パトリック、ゲンズレン、ケンプ
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド、整形外科疾患の理学療法
12 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		ROM: 反射: 膝蓋腱、アキレス腱、筋力: 大腿四頭筋、腓骨筋、: ID、AKA仙腸
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
13 項	目	復習 前期テスト
学 習 目 標・ポ イ ン ト		
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
14 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		ヤーガソン、ベインフルアーク、ドロップアーム、ダウバーン、ニア・ホーキンズ
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
15 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		トムゼン、逆トムゼン、ファーレン、アイヒホッフ、触察前腕伸筋
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド

16 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		ROM:肩、肘、手 筋力:浅指・深指屈筋、骨間筋、肩アプリーヘンジョン、手根骨モビリ
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
17 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		下肢アライメント、膝蓋跳動、膝蓋骨圧迫、膝蓋骨アプリーヘンジョン
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
18 項	目	運動療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト		変形性膝関節症、TKA
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
19 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		圧アプリー引アプリー、マックマレー、外反・内反ストレステスト
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
20 項	目	運動療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト		膝靭帯損傷理学療法 膝関節モビリ、ID
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
21 項	目	現代医学検査測定
学 習 目 標・ポ イ ン ト		前方・後方引き出しテスト、ラックマン、グラスピング、ステインマン、Nテスト、ROM:膝
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
22 項	目	運動療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト		変形性股関節症、THA術後、関節リウマチ
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
23 項	目	運動療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト		関節リウマチ
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
24 項	目	運動療法の実際
学 習 目 標・ポ イ ン ト		PNF
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック
25 項	目	動作分析
学 習 目 標・ポ イ ン ト		動作分析概論、起き上がり動作、立ち上がり動作、クライン
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		臨床動作分析
26 項	目	運動療法の実際
学 習 目 標・ポ イ ン ト		脳血管障害
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック、神経理学療法学
27 項	目	運動療法の実際
学 習 目 標・ポ イ ン ト		パーキンソン症候群、小脳
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		理学療法ハンドブック、神経理学療法学
28 項	目	復習 と 動作分析
学 習 目 標・ポ イ ン ト		後期復習 と 特定課題分析
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		鍼灸療法技術ガイド
29 項	目	復習 後期テスト
学 習 目 標・ポ イ ン ト		
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
30 項	目	運動療法の実際
学 習 目 標・ポ イ ン ト		筋徒手療法
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ(講義)1
担 当 教 員	古田 大河
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	現代の鍼灸師の役割の一つとして、現代医学を補完することがあげられる。そのために必要なのは、現代医学について理解したうえで鍼灸師ができることを考え実行する能力である。医療として鍼灸臨床を行う際に必要な知識と技術について学び、臨床で必要となる思考方法についてグループワークを通じて訓練する。
到 達 目 標	・鍼灸臨床における診察、病態把握、治療方法をについて説明できる。 ・カルテを適切に記載することができる。 ・現代医学の中で鍼灸師としてできることはなにか説明することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 平常点 30%、グループワーク 70% として評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 2013年5月～2018年3月まで 福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座助手として勤務。医学部にて鍼灸の講義・実習を担当。 2022年9月～ 明治東洋医学専門学校に非常勤講師として勤務。教員養成課程の臨床実習を担当。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 2013年5月～2018年3月まで 福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座助手として勤務。病棟および鍼灸外来にて鍼灸臨床を行う。 2018年4月～ のどか治療院勤務。在宅ケアの現場で鍼灸臨床を行う。 2020年9月～ 鍼灸MARU開業。在宅ケアの現場で鍼灸臨床を行う。 3. 研究業績 薬物性肝障害のために抗うつ薬中止を余儀なくされたうつ病患者に対する鍼治療. 全日本鍼灸学会雑誌, 2013, 63.2: 115-122. 他 著書 共著: Q38 訪問鍼灸師, 在宅診療での治療の実際を教えてください. 寺澤佳洋 編, 鍼灸のことが気になったらまず読む本 Q&A 89, 中外医学社, (58-60).

1 項 目	医療としての鍼灸臨床
学習目標・ポイント	現代医療の中での鍼灸師の在り方や、鍼灸治療の意義について理解する。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
2 項 目	カルテの構造と記載方法
学習目標・ポイント	鍼灸臨床に必要なカルテの構造と記載方法について学習し、カルテを記載できるようになる。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
3 項 目	鍼灸師に必要な臨床推論と病態把握
学習目標・ポイント	鍼灸臨床における臨床推論の技術について学び、病態把握の進め方について理解する。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
4 項 目	鍼灸師に必要な臨床推論と病態把握
学習目標・ポイント	鍼灸臨床における臨床推論と病態把握について、模擬症例を通じて演習を行う。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
5 項 目	中医学における弁証論治
学習目標・ポイント	中医学的な弁証論治の概要を理解し、模擬症例を通じて演習を行う。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
6 項 目	医療連携について
学習目標・ポイント	鍼灸師に必要となる他職種との医療連携の概要について学び、他職種への理解を深める。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
7 項 目	症例問題グループワーク①
学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割についてグループで考え、発表を行う。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
8 項 目	症例問題グループワーク①解説
学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割について理解を深める。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
9 項 目	症例問題グループワーク②
学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割についてグループで考え、発表を行う。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
10 項 目	症例問題グループワーク②解説
学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割について理解を深める。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
11 項 目	症例問題グループワーク③
学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割についてグループで考え、発表を行う。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
12 項 目	症例問題グループワーク③解説
学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割について理解を深める。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
13 項 目	緩和ケアと鍼灸師
学習目標・ポイント	鍼灸師に必要な緩和ケアの知識と、鍼灸の可能性について理解する。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
14 項 目	在宅医療と鍼灸師
学習目標・ポイント	鍼灸師に必要な在宅医療の知識と、鍼灸の可能性について理解する。
使用する材料	資料を配布する。
備考	
15 項 目	まとめ
学習目標・ポイント	医療として鍼灸臨床を行う際に必要な知識と技術について理解し説明できる。
使用する材料	資料を配布する。
備考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ(講義) 2
担 当 教 員	酒井 良和
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	全身治療である経絡治療を客観的な指標で評価(点数化による)し、それらの総合点数により証を把握し治療することができる。
到 達 目 標	経絡治療に必要な診察から証決定および治療穴の選択までを修得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 レポート提出により評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 1) 昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼・灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2) 平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3) 平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4) 平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5) 平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 1) 職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 『全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 『教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等) 処理。 治療所長『鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整』 2) 臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 3. 研究業績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号

1 項 目	総論1
学 習 目 標・ポ イ ン ト	診療の流れを習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
2 項 目	総論2
学 習 目 標・ポ イ ン ト	症例からの診療の流れを習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
3 項 目	問診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	問診表の内容および使用法を習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
4 項 目	舌診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	舌診の内容を習得する。(1)
使 用 す る 材 料	
備 考	
5 項 目	舌診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	舌を観察(スケッチ)し、病態を習得する。(2)
使 用 す る 材 料	
備 考	
6 項 目	脈診1
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脈診の内容を習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
7 項 目	脈診2
学 習 目 標・ポ イ ン ト	六部定位脈診方を習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
8 項 目	腹診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	腹診の診方を習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
9 項 目	背候診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	背候診の診方を習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
10 項 目	切経
学 習 目 標・ポ イ ン ト	切経の診方を修得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
11 項 目	証決定
学 習 目 標・ポ イ ン ト	証決定の導き方を習得する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
12 項 目	選穴1
学 習 目 標・ポ イ ン ト	治療穴の選定を習得する。(1)
使 用 す る 材 料	
備 考	
13 項 目	選穴2
学 習 目 標・ポ イ ン ト	治療穴の選定を習得する。(2)
使 用 す る 材 料	
備 考	
14 項 目	症例
学 習 目 標・ポ イ ン ト	症例における診察結果から証決定・治療穴を習得する。(1)
使 用 す る 材 料	
備 考	
15 項 目	症例
学 習 目 標・ポ イ ン ト	症例における診察結果から証決定・治療穴を習得する。(2)
使 用 す る 材 料	
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ(実技)
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	美容鍼灸は、従来の鍼灸治療の延長にあり、美容エステティック、アロマセラピーなどの領域に成り立つ新しい分野であり、現在多くの鍼灸院で取り入れられている。 美容鍼灸を行うにあたり、必要な頭顔部の解剖学を理解することは極めて重要であり、より詳細な顔面骨および表情筋等の基礎知識を学んだ上で、肌トラブルが起こるメカニズムを知り、目的に合った効果的な美容鍼灸を行うための基本的知識や態度および鍼灸手技を習得することを目指す。
到 達 目 標	①頭蓋骨及び頭部の筋(表情筋・咀嚼筋)の解剖学的位置関係や作用を理解し説明ができるようになる。 ②美容鍼灸の目的・効果・注意点について説明ができるようになる。 ③美容鍼灸の基本手技、各肌トラブルに対する鍼灸手技が安全にできるようになる。 ④アロマセラピーの概要について説明ができるようになる。 ⑤鍼灸師科のディプロマポリシー「鍼灸師として必要な専門的な医療知識及び技術を身につける」を達成するための科目です。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 3. 研究実績 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項	目	美容鍼灸の概要
学 習 目 標・ポイント		美容鍼の演習(常用経穴の確認)を行う。 美容鍼灸の注意すべき点
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
2 項	目	美容鍼灸の基礎知識について
学 習 目 標・ポイント		皮膚の構造と機能、美容鍼灸の目的と効果、美容鍼灸の実践について知る。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
3 項	目	肌トラブルの概要、美容医療、美容鍼灸の流れについて
学 習 目 標・ポイント		肌トラブルの種類や最新美容医療について知る。 美容鍼灸の流れおよび基本手技を確認する。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
4 項	目	美容鍼灸で起こるトラブル、基本手技について
学 習 目 標・ポイント		起こりうるトラブルと対処法、同意書必要性を知る。 常用経穴を確認し刺鍼練習(基本手技)を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
5 項	目	肌トラブルのメカニズムとアプローチ①
学 習 目 標・ポイント		たるみのメカニズムを知り、刺鍼練習を行う。 (たるみに対する刺鍼練習+基本手技)
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
6 項	目	肌トラブルのメカニズムとアプローチ②
学 習 目 標・ポイント		シワのメカニズムを知り、刺鍼練習を行う。 (シワに対する刺鍼練習+基本手技)
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
7 項	目	肌トラブルのメカニズムとアプローチ③
学 習 目 標・ポイント		表情筋の衰えによるシワ・たるみのメカニズムを知り、刺鍼練習を行う。 (表情筋などへの低周波鍼通電+基本手技)
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
8 項	目	肌トラブルのメカニズムとアプローチ④
学 習 目 標・ポイント		くすみ・クマのメカニズムを知り、刺鍼練習を行う。 (くすみ・クマに対する施灸練習+基本手技)
使 用 す る 材 料		
備 考		
9 項	目	肌トラブルのメカニズムとアプローチ⑤
学 習 目 標・ポイント		シミのメカニズムについて知り、刺鍼練習を行う。 (基本手技+今までの復習)
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
10 項	目	美容鍼灸の実践①
学 習 目 標・ポイント		問診から治療まで
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
11 項	目	美容鍼灸の実践②
学 習 目 標・ポイント		問診から治療まで
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
12 項	目	アロマセラピーの概要について
学 習 目 標・ポイント		アロマセラピーの基礎知識について知る。
使 用 す る 材 料		
備 考		
13 項	目	アロマセラピーの実践
学 習 目 標・ポイント		トリートメントオイルを作成し、ハンドトリートメントを実際に行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
14 項	目	総復習
学 習 目 標・ポイント		美容鍼灸の総復習を一連の流れで実践する。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
15 項	目	実技試験
学 習 目 標・ポイント		
使 用 す る 材 料		
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ（講義）1
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	アナトミートレインの理論を理解する・脈理を理解する
到 達 目 標	アナトミートレインの各ラインについて役割・働きを説明できる・脈理を理解し各脈の区別ができる
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」Ⅰ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ 学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績（臨床経験等） 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院（大阪市中央区）開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院（岸和田市）開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見（自覚的所見）による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 経筋とアナトミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 体格指数（BMI）に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO（rs9939609）と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 アナトミートレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌

1 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	基本理論について理解する
使用する材料	PDF、プリント
備考	
2 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	SBLについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
3 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	SFLについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
4 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	DFLについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
5 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	LTLについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
6 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	SPLについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
7 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	ALIについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
8 項 目	アナトミートレイン
学習目標・ポイント	FLIについて
使用する材料	PDF、プリント
備考	
9 項 目	経筋療法
学習目標・ポイント	経筋の役割、流注、経筋病証を理解する
使用する材料	PDF、プリント
備考	
10 項 目	アナトミートレインと経筋流注
学習目標・ポイント	その類似性と相違性について
使用する材料	PDF、プリント
備考	
11 項 目	脈診
学習目標・ポイント	基礎知識
使用する材料	PDF、プリント
備考	
12 項 目	脈診
学習目標・ポイント	病脈
使用する材料	PDF、プリント
備考	
13 項 目	脈診
学習目標・ポイント	六綱脈について(浮綱脈・沈綱脈)
使用する材料	PDF、プリント
備考	
14 項 目	脈診
学習目標・ポイント	六綱脈について(遅綱脈・数綱脈)
使用する材料	PDF、プリント
備考	
15 項 目	脈診
学習目標・ポイント	六綱脈について(虚綱脈・実綱脈)
使用する材料	PDF、プリント
備考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ(講義)2
担 当 教 員	篠原 昭二
カリキュラム名	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	はりきゅう治療の原則は、身体上のツボに対してはりや灸刺激をおこなって症状の改善や疾病の治療を図るものである。したがって、(1)症状を引き起こす病態を認識するために、臓腑病、経脈病、経筋病等の概念を認識する必要がある。さらに、(2)経穴(ツボ)への刺激は、疏通経脈を介して気血の流れを調整することによって症状を改善するものであり、ツボと経脈の関連(特に手足の要穴と経脈の病証)について理解する必要がある。本来的には、(3)病態認識については、四診法によって判断する必要があるが、この課題については、他講に譲る。
到 達 目 標	(1)臓腑病、経脈病、経筋病について理解する。(2)12経絡の病証と手足の要穴について理解する。(3)はりきゅう刺激と疏通経脈について体験的に理解する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 明治国際医療大学及び九州看護福祉大学において、45年9ヶ月にわたり鍼灸師養成に携わってきた。主たる科目は、東洋医学概論、経絡経穴学、鍼灸診断学、東洋医学臨床論、臨床鍼灸学等。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 経絡経穴概論(医道の日本社)テキストの執筆に関与。 3. 研究業績 (3)大学院教育において、明治国際医療大学では修士課程および博士課程を指導、九州看護福祉大学では修士課程の指導を担当した。文科省によるマル合認定。

1 項 目	運動器系愁訴は、局所治療だけで鎮痛可能か？局所治療の適応と限界を理解する。
学習目標・ポイント	局所治療は万能ではなく、単純な経筋病であれば簡単に鎮痛可能であるが、外感病（外感表証）、経脈病、臓腑病由来の疼痛は一時的効果またはすぐに症状が再燃することが多い。疼痛をきたした病態を認識する必要がある。肩前面痛（上腕二頭筋長頭腱鞘炎）を題材として。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）または1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	局所への四診と経絡を介した指針の治療法について理解を深める。
2 項 目	経脈病証について理解する。（1）手太陰肺経、足太陰脾経
学習目標・ポイント	経脈に関する経筋病、経脈病、臓腑病について理解を深める。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	肺経、脾経を用いた治療法について学ぶ。
3 項 目	経脈病証について理解する。（1）足少陰腎経、足厥陰肝経
学習目標・ポイント	経脈に関する経筋病、経脈病、臓腑病について理解を深める。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	腎経、肝経を用いた治療法について学ぶ。
4 項 目	経筋病とは何か？経筋治療においてなぜ榮穴や兪穴で鎮痛ができるのか？経筋理論を理解する。
学習目標・ポイント	『靈樞』経筋篇第十三における治療原則は、疼痛部への局所治療（「治在燔鍼劫刺（焼き針で速刺速抜）、以知爲數（治るまで刺せ）、以痛爲輪（痛いところがツボ）」）であるが、榮穴や兪穴への刺激でも鎮痛できる。本講では経筋治療のシステムを認識する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）または1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	頭を左右に倒した時に側頸部が突っ張る場合に考慮すべき経筋は何か理解しておくこと。側頸部を通過する経筋について予習しておくこと。
5 項 目	頸部、肩関節、肘関節、手関節の愁訴（動作時痛）に対する経筋治療を理解する。（1）
学習目標・ポイント	頸部及び上肢の経筋病に対する診断と治療法 について理解する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	上肢の各愁訴（動作時痛）を引き起こす解剖学的な組織と関連する経筋について予習しておくこと。
6 項 目	頸部、肩関節、肘関節、手関節の愁訴（動作時痛）に対する経筋治療を理解する。（2）
学習目標・ポイント	頸部及び上肢の経筋病に対する診断と治療法 について理解する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	上肢の各愁訴（動作時痛）を引き起こす解剖学的な組織と関連する経筋について予習しておくこと。
7 項 目	股関節、膝関節、足関節の愁訴（動作時痛）に対する経筋治療を理解する。（1）
学習目標・ポイント	股関節、膝関節、足関節の経筋病に対する診断と治療法 について理解する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	下肢の各愁訴（動作時痛）を引き起こす解剖学的な組織と関連する経筋について予習しておくこと。
8 項 目	股関節、膝関節、足関節の愁訴（動作時痛）に対する経筋治療を理解する。（2）
学習目標・ポイント	股関節、膝関節、足関節の経筋病に対する診断と治療法 について理解する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）または1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	下肢の各愁訴（動作時痛）を引き起こす解剖学的な組織と関連する経筋について予習しておくこと。
9 項 目	経絡とは何か？巧妙に構築された経絡システムについて理解する。
学習目標・ポイント	十二経脈、十二経筋、6（12）系皮部について理解を深める。これらは単独で存在するのではなく、臓腑とも密接に関連している。経絡システムを理解することによって、経絡をベースとした末梢穴刺激の効果（遠隔部治療の醍醐味）を実践することができる。
使用する材料	1寸1番鍼、寸6・2番鍼、寸3・7番鍼の刺鍼準備が必要。
備考	経絡の流注（体内流注：経絡と臓腑や各器官との関連）について予習しておくこと。
10 項 目	顎関節症の治療穴は何かおすすめか？あなたは顎関節痛に対してどう治療しますか？経絡の理解を深める。
学習目標・ポイント	顎関節症のステージⅠ、Ⅱであれば、内庭への刺激で鎮痛することが可能であるが、生理学的に 顎関節と足趾との関連 は不明である。しかし、経絡学説では密接に関連しており、経絡の知識を応用することによって鍼治療に奥行きを出すことができる。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	顎関節痛を関連する経脈、経筋は何かがあるか予習しておくこと。
11 項 目	消化器愁訴と唇の荒れと膝関節前面痛は関連するか？
学習目標・ポイント	臓腑と経脈・経筋の関連について理解する。 唇の荒れやひび割れ、口内炎を有する患者は消化器系愁訴を有することが多く、かつ、膝関節前面の動作時痛を訴える事が多い。膝関節痛を消化器愁訴や歯の異常と関連して認識する鍼灸師は少ないのではないかと 歯が悪いとお腹を壊して膝痛が発生 しやすい。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	足陽明胃経の病証について予習しておくこと。胃経のツボを使って治療可能な愁訴は何か？
12 項 目	治未病について学ぶ。単に病気になる前に予防すると言った短絡的な考え方だけでなく、広く古典の記述を理解した運用が求められる。
学習目標・ポイント	治未病に関する古典の記述には、1)「黄帝内経素問」四季調神大論篇第2、2)黄帝内経靈樞・逆順篇第五十五、3)黄帝内経素問・刺熱論篇第32、4)「黄帝八十一難経（いわゆる難経）」第七十七難があり、それぞれ意味合いが異なることを理解する必要がある。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	予防医学の類型（0次から3次予防）との関連を考察しなければならない！
13 項 目	ストレスが原因で股関節痛を訴えることはあるか？
学習目標・ポイント	心の問題（ストレス）を認識する方法を理解できているか？ ストレス（肝郁・肝鬱）が原因で胃の調子が悪くなり（肝胃不和、肝脾不和）陽明経脈・経筋病として股関節痛を訴えた患者さんは、股関節部への治療や経筋治療で治す事が可能か？ ストレスの関与を認識する東洋医学的な方法 について理解する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	臓腑に対する診断法について予習しておくこと。四診法を理解する。
14 項 目	鍼はなぜ効くのか？疏通経脈、舒筋活絡について理解する。
学習目標・ポイント	鍼治療は、経脈の気血の流れを調節することによって、愁訴を改善するものである（ 疏通経脈 ：経筋病は 舒筋活絡 ）。局所への過剰刺激は症状の悪化を招来する事が多いことを理解する必要がある。 アース鍼 のすすめ。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	疏通経脈について予習しておくこと。経脈を疏通させる方法を理解する。
15 項 目	ツボとは何か？
学習目標・ポイント	学生さんに「私が考えるツボとは」について簡単（5分程度）に発表していただきます。 ① ツボとは 、「病曰く、我是に在り」と：体に異常が生じると体表に種々の反応が出現する。その反応こそがツボ！触れて指の止まるところ。②WHO、中国と日本のツボの考えかたの違い。・鍼妙vs得気。③穴意効能と経穴主治：ツボの使い方について考察する。
使用する材料	パイオネックス（0.3又は0.6mm）又は1寸1番（30mm、16号）鍼の刺鍼準備が必要。
備考	合谷穴を使ってどんな症状が治療できるか予習すること。

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ(実技)
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床における特殊鍼法を中心に、様々な療法について基本を学び身につけ、さらに臨床応用できるようになる。
到 達 目 標	①奇経療法の基本を身につけ、臨床応用できる ②赤羽氏法の基本を身につけ、臨床応用できる ③その他、臨床に活用できる施術法を臨床に活用できるようにする。
成績評価方法及び基準	出席状況や授業態度、筆記試験及び実技試験で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 経筋とアトミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 アトミー・トレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 経筋流注とアトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 ほか

1 項 目	スキン鍼法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	スキン鍼法の特殊な鍼刺入法を身につけ、臨床応用できるようにする
使 用 す る 材 料	寸3・3番、寸6・3番
備 考	
2 項 目	赤羽氏法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	赤羽氏法の理論を理解し、知熱感度測定法を正確に行える
使 用 す る 材 料	線香、皮内鍼、ピンセット、絆創膏、1寸・5番
備 考	
3 項 目	赤羽氏法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	測定結果をもとに、背部腧穴に対し正確に皮内鍼および瀉法鍼を行える
使 用 す る 材 料	線香、皮内鍼、ピンセット、絆創膏、1寸・5番
備 考	
4 項 目	奇経療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	奇経脈の役割、生理、病理を理解し、診断を行える
使 用 す る 材 料	テスター、寸3・1番、金属粒、絆創膏
備 考	
5 項 目	奇経療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	腹診や圧診点から病経を判断し、的確な施術を行える
使 用 す る 材 料	テスター、寸3・1番、金属粒、絆創膏
備 考	
6 項 目	小児鍼法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	小児の病証を理解し、適切な刺激法を選択できる
使 用 す る 材 料	小児鍼、1寸・1番、寸3・1番
備 考	
7 項 目	隔物灸
学 習 目 標・ポ イ ン ト	様々な隔物灸の種類、施術方法を知り、施術法・適応などを理解する
使 用 す る 材 料	箱灸、大蒜、生姜、粗塩その他、温灸艾、寸6・3番、2寸・5番
備 考	
8 項 目	灸頭鍼
学 習 目 標・ポ イ ン ト	灸頭鍼の施術方法を知り、施術法・適応などを理解する
使 用 す る 材 料	灸頭鍼用艾、寸6・3番、2寸・5番
備 考	
9 項 目	経筋療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	前期講義の復習
使 用 す る 材 料	
備 考	
10 項 目	経筋療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	経筋病の診断・治療を行う
使 用 す る 材 料	寸3・1番、寸3・3番、寸6・3番、皮内鍼、絆創膏、ピンセット
備 考	
11 項 目	様々な刺鍼法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	多種ある刺鍼法を知り、施術法・適応などを理解する
使 用 す る 材 料	寸3・1番、寸3・3番、寸6・3番
備 考	
12 項 目	Mテスト
学 習 目 標・ポ イ ン ト	Mテストの基本的なテスト法・診断法を身につける
使 用 す る 材 料	寸3・1番、テスト法用紙
備 考	
13 項 目	Mテスト
学 習 目 標・ポ イ ン ト	Mテストにおけるテスト法に基づいた選穴方法を理解し、正しく取穴刺鍼する
使 用 す る 材 料	寸3・1番、テスト法用紙
備 考	
14 項 目	Mテスト
学 習 目 標・ポ イ ン ト	Mテストにおける中医学的診断方法を理解し身につける
使 用 す る 材 料	寸3・1番、テスト法用紙
備 考	
15 項 目	Mテスト
学 習 目 標・ポ イ ン ト	Mテストにおける補瀉の経穴を使った選穴法と刺鍼法を身につける
使 用 す る 材 料	寸3・1番、テスト法用紙
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう応用学(講義)
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう応用学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	古典文献に記載されている内容を理解し、現代鍼灸学と比較検討する
到 達 目 標	現代に使われている鍼灸学の理論が古典文献のどのように記載されているのかを理解する
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験80%、小テスト15%、出席率5%で評価する
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学の所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 経筋とアトミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 アトミートレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 経筋流注とアトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 ほか 経筋流注とアトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 ほか

1 項	目	難經とは？難經一難～五難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
2 項	目	難經六難～十二難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
3 項	目	難經十三難～十六難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
4 項	目	難經十七難～二十一難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
5 項	目	難經二十二難～二十六難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
6 項	目	難經二十七難～二十九難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
7 項	目	難經三十難～三十五難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
8 項	目	難經三十六難～四十二難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
9 項	目	難經四十三難～四十七難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
10 項	目	難經四十八難～五十四難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
11 項	目	難經五十五難～五十七難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
12 項	目	難經五十八難～六十一難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
13 項	目	難經六十二難～六十九難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
14 項	目	難經七十難～七十五難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		
15 項	目	難經七十六難～八十一難
学習目標・ポイント		各難の要点を理解する
使用する材料		PDF、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法虚員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう応用学(実技)
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう応用学
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床における筋・筋膜に対する状態把握や触診、異常筋に対しての判断、施術の技術を身に着ける。その他、臨床に活用できる施術法を理解応用する
到 達 目 標	①筋・筋膜の体表解剖を身につける ②患者の状態から、筋筋膜がどのような状態になっているかを判断・説明できる。 ③異常筋にたいして、的確に施術できる。 ④その他、臨床に活用できる施術法を臨床に活用できるようにする。
成績評価方法及び基準	出席状況や授業態度、実技試験で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 3. 研究実績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 経筋とアナトミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 アナトミートレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアナトミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における 令和6年9月 明治国際医療大学誌 ほか

1 項 目	筋膜について
学習目標・ポイント	筋膜についてその働きや性質を理解する
使用する材料	
備考	
2 項 目	姿勢と運動
学習目標・ポイント	異常姿勢(代償姿勢)・代償運動からその原因を探す
使用する材料	
備考	
3 項 目	上肢の筋
学習目標・ポイント	母指球筋・腕橈骨筋・三角筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
4 項 目	衛生管理・消毒操作
学習目標・ポイント	施術に際して、十分な衛生管理と正しい消毒操作ができる
使用する材料	消毒用具一式
備考	
5 項 目	頸部の筋
学習目標・ポイント	顎二腹筋・胸鎖乳突筋・後頭下筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
6 項 目	頸部の筋2
学習目標・ポイント	斜角筋・頸長筋・板状筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
7 項 目	肩関節の筋
学習目標・ポイント	僧帽筋上部・肩甲挙筋・小胸筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
8 項 目	肩関節の筋2
学習目標・ポイント	小円筋・棘上筋・棘下筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
9 項 目	肩関節の筋3
学習目標・ポイント	肩甲下筋・前鋸筋・広背筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
10 項 目	腰部の筋
学習目標・ポイント	腰方形筋・腸腰筋・脊柱起立筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸6・3番、3寸・5番、2寸・5番
備考	
11 項 目	骨盤部の筋
学習目標・ポイント	大殿筋・中殿筋・小殿筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸6・3番、2寸・5番
備考	
12 項 目	下肢の筋
学習目標・ポイント	大腿四頭筋・ハムストリングス・下腿三頭筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸6・3番
備考	
13 項 目	下肢の筋2
学習目標・ポイント	前脛骨筋・後脛骨筋・腓骨筋について正確に触診・刺鍼ができる
使用する材料	鍼:寸3・3番、寸3・1番
備考	
14 項 目	子午流注鍼法
学習目標・ポイント	子午流注鍼法の概要・理論を理解し、臨床応用できる
使用する材料	鍼:寸3・1番
備考	
15 項 目	動作時痛に対する『難経』六十九難の応用
学習目標・ポイント	運動器疾患に対して『難経』六十九難の臨床応用ができる
使用する材料	鍼:寸3・1番
備考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	共通臨床実習①
担 当 教 員	上野 暁生
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち135時間を担当
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 専任教員として2の科目を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習 3. 研究業績 学会発表 ・第72回(公社)全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 「アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療」 ・第66回(公社)全日本鍼灸学会学術大会 東京大会 「アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療」

1 項	目	1～78 施術所における実習を行う。
学 習 目 標・ポイント		教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使 用 す る 材 料		
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	共通臨床実習②
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち135時間を担当
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。

教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究実績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表 体格指数に基づく東洋医学的体質と肥満関連遺伝子型の関連性について健康・食習慣からの 令和3年1月 日本生物高分子学会 体格指数(BMI)に及ぼす3種類の肥満関連遺伝子変異の影響 令和4年6月 日本食育学会 第16回大会一般発表 経筋とアノミ・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 体格指数(BMI)に及ぼす海藻類摂取頻度と肥満関連遺伝子(UCP-1 遺伝子)変異の関係について 令和5年6月 日本食育学会 第17回大会一般発表 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 アノミ・トレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 体格指数(BMI)に関与する肥満関連遺伝子 FTO(rs9939609) 変異及び生活習慣等の男女差に 令和5年12月 第22回日本栄養改善学会近畿支部学術総会一般発表 経筋流注とアノミ・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアノミ・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点 令和6年9月 明治国際医療大学誌
1 項 目	1～78 施術所における実習を行う。
学 習 目 標 ・ ポ イ ン ト	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使 用 す る 材 料	
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はり、きゅう臨床実習
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	4(180)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下で、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 3. 研究業績 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項	目	1～104 施術所における実習を行う。
学 習 目 標・ポイント		教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使 用 す る 材 料		
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	原典(古典)閲読(講義)
担 当 教 員	木場 宜子
カ リ キ ュ ラ ム 名	人文科学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	東洋医学概論で習ったことで疑問に感じたことを、文献を調べることにより明らかにする方法を身につける。
到 達 目 標	文献についての基礎知識を学ぶ。 歴史、書誌学、句読など
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 2. 実務上の業績(臨床経験等) H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 3. 研究業績 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1 項	目	文献の基礎① 歴史
学習目標・ポイント		文献のために必要な歴史的背景を学ぶ
使用する材料		
備考		
2 項	目	文献基礎② 書誌学
学習目標・ポイント		書誌学について学ぶ
使用する材料		
備考		
3 項	目	文献基礎③ 書誌学
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
4 項	目	文献基礎④ 句読
学習目標・ポイント		句読について学ぶ
使用する材料		
備考		
5 項	目	文献基礎⑤ 句読
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
6 項	目	古典講読① 『素問』
学習目標・ポイント		『素問』を読む
使用する材料		
備考		
7 項	目	古典講読② 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
8 項	目	古典講読③ 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
9 項	目	古典講読④ 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
10 項	目	古典講読⑤ 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
11 項	目	古典講読⑥
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
12 項	目	古典講読⑦
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
13 項	目	古典講読⑧
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
14 項	目	古典講読⑨
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
15 項	目	古典講読⑩
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	外国語(演習)
担 当 教 員	吉住 尚恵
カ リ キ ュ ラ ム 名	人文科学
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	英文法の基礎を学ぶ。医学英単語の習得。
到 達 目 標	中学～高校レベルの英文法の基礎及び医学英単語習得。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2009年6月 ～ 2016年12月 ニフ国際学院にて英文法の指導を担当。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 なし 3、研究業績 2012年11月 実用英語技能検定1級取得 2008年9月 TOEICスコア870

1 項 目	英文法(中学～高校)be動詞と一般動詞・時制/医学英単語(人体1)
学習目標・ポイント	be動詞と一般動詞の違いを理解する
使用する材料	プリント配布
備考	(特筆事項)
2 項 目	英文法(中学～高校)様々な疑問文・現在進行形/医学英単語(人体2)
学習目標・ポイント	5W1Hを用いた疑問文を作れるようになる。現在進行形の理解。
使用する材料	プリント配布
備考	
3 項 目	英文法(中学～高校)受動態・現在分詞と過去分詞/医学英単語(人体3)
学習目標・ポイント	受動態と能動態の理解、現在分詞と過去分詞を使いこなす。
使用する材料	プリント配布
備考	
4 項 目	英文法(中学～高校)助動詞/医学英単語(骨格系1)
学習目標・ポイント	助動詞を理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	
5 項 目	英文法(中学～高校)現在完了形/医学英単語(骨格系2)
学習目標・ポイント	現在完了の意味を理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	
6 項 目	英文法(中学～高校)比較/医学英単語(筋肉系)
学習目標・ポイント	比較級・最上級の文を作れるようになる。
使用する材料	プリント配布
備考	
7 項 目	英文法(中学～高校)不定詞/医学英単語(循環系)
学習目標・ポイント	不定詞の様々な意味を理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	
8 項 目	英文法(中学～高校)文構造/医学英単語(呼吸器系)
学習目標・ポイント	文構造を理解し、文型について習得する。
使用する材料	プリント配布
備考	
9 項 目	英文法(中学～高校)関係代名詞①/医学英単語(消化器系)
学習目標・ポイント	関係代名詞を理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	
10 項 目	英文法(中学～高校)関係代名詞②/医学英単語(泌尿器系)
学習目標・ポイント	さまざまな関係代名詞の文を習得する。
使用する材料	プリント配布
備考	
11 項 目	英文法(中学～高校)仮定法/医学英単語(神経系)
学習目標・ポイント	仮定法を理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	
12 項 目	英文法(中学～高校)分詞構文/医学英単語(リンパ系)
学習目標・ポイント	分詞構文を習得する。
使用する材料	プリント配布
備考	
13 項 目	英文法(中学～高校)前置詞・接続詞/医学英単語(さまざまながん治療)
学習目標・ポイント	前置詞と接続詞の使い方を習得する。
使用する材料	プリント配布
備考	
14 項 目	英文法(中学～高校)及び医学英単語総復習
学習目標・ポイント	総復習
使用する材料	プリント配布
備考	
15 項 目	英文法(中学～高校)及び医学英単語総復習
学習目標・ポイント	総復習
使用する材料	プリント配布
備考	

16 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習①
学習目標・ポイント	自己紹介と鍼灸院での受付での英語を話せるようになる。英文抄録朗読を練習。
使用する材料	プリント配布
備考	(特筆事項)
17 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習②
学習目標・ポイント	時間と月日を英語で話す。鍼灸院で問診票の記入をお願いする。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
18 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習③
学習目標・ポイント	食事において使う英語・鍼灸院で注意事項の説明をする。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
19 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習④
学習目標・ポイント	天気や天候について英語で話す。鍼灸院での問診【1】。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
20 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑤
学習目標・ポイント	家族について英語で話す。鍼灸院での問診【2】。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
21 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑥
学習目標・ポイント	趣味について英語で話す。鍼灸院での問診【3】。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
22 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑦
学習目標・ポイント	健康と病気について英語で話す【1】。鍼灸院で患者着に着替えてもらう。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
23 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑧
学習目標・ポイント	健康と病気について英語で話す【2】。鍼灸院でお灸の注意点を説明する。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
24 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑨
学習目標・ポイント	薬局での英会話を習得する。鍼灸院での問診(腹部)英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
25 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑩
学習目標・ポイント	英語で道案内をする。鍼灸院での問診(膝の痛み)英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
26 項 目	日常英会話・鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑪
学習目標・ポイント	電車で使う英会話。鍼灸院で、病院へかかるよう患者に提案する。英文抄録朗読練習。
使用する材料	プリント配布
備考	
27 項 目	鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑫
学習目標・ポイント	施術が終わったことを英語で伝える。興味のある分野から英文抄録を選ぶ。
使用する材料	プリント配布
備考	
28 項 目	鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑬
学習目標・ポイント	通院頻度を英語で伝える。英文抄録朗読。
使用する材料	プリント配布
備考	
29 項 目	鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑭
学習目標・ポイント	次回の予約を英語で取ってもらう。英文抄録朗読。
使用する材料	プリント配布
備考	
30 項 目	鍼灸院での英会話・英文抄録朗読練習⑮
学習目標・ポイント	英語で会計を行う。英文抄録朗読(課題の提出)
使用する材料	プリント配布
備考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育学概論(講義)
担 当 教 員	戸田 和樹
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	教育学概論で学ぶ教育原理は、教育の目的・理論から学習指導要領、はたまた同和教育、生涯教育と広範囲に及びます。教職教養全体を総括する重要な位置にあるこの学習内容は、教員を目指す人にとっては必ず修得しなければならない学習内容です。
到 達 目 標	教育の目標や教育の現状と未来への方向性を多角的な観点から概観することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)50%、平常授業30%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退去を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学Ⅰ・Ⅱ・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 2. 実務上の業績(臨床経験等) 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞 「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきつぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねてつどう」 など 3. 研究業績 詩集「はんなりとした人々」二上書房 「嘘八景」新風舎 「日溜まりの中の灰」竹林館 童話「ゆーみいちゃん きせつをめぐる10のおはなし」新風舎 童話「ゆーみいちゃんのすてきなともだち」新風舎

1 項 目	シラバスを通し、教育学概論の学習の見通しを持つことができる。
学習目標・ポイント	『教育』への印象・思いを話し合います。
使用する材料	シラバス等配布予定
備考	
2 項 目	教育原理の全体像を把握することができる。
学習目標・ポイント	日本国憲法と教育との関りについて調べ、発表する①
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	教育原理の全体像を把握することができる。
学習目標・ポイント	日本国憲法と教育との関りについて調べ、発表する②
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	日本国憲法よ教育基本法との関りを知ることができる。
学習目標・ポイント	教育基本法や教育の意義・目的などを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	人格形成と家庭教育、学校教育、社会教育について理解することができる。 ①生徒指導の意義と原理
学習目標・ポイント	鍼灸医療教育における生徒指導について、そのあり方を検討する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	学習指導に生きる指導原理(「個を生かす」の視点と「詰め込み教育」)
学習目標・ポイント	「個」に応じるとともに、「個」を生かす指導のあり方を模索することができる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
7 項 目	学ぶ意味と「人間力」とは何かを考えることができる。
学習目標・ポイント	「人間力」を育てるために、どのような取り組みが必要かを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
8 項 目	「大人の姿を見せる」ことの意義を考えることができる。新しい学力の捉え方
学習目標・ポイント	鍼灸医療教育の中で「大人の姿を見せる」ということは、どういうことかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
9 項 目	日本の鍼灸教育の歴史的変遷について理解することができる。①
学習目標・ポイント	戦後の鍼灸教育の変遷を調べ、表にする。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	日本の鍼灸教育の歴史的変遷について理解することができる。②
学習目標・ポイント	戦後の鍼灸教育の変遷を理解すると共に、今後の鍼灸教育の課題について話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	人権教育の改善・充実の基本的考え方を理解することができる。
学習目標・ポイント	「人権」とは何かを明らかにしながら、なぜ人権教育が必要なのかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	ジェンダーと性差別について理解することができる。
学習目標・ポイント	日本において、どんなところに性差別が残っているか、教育の現場ではどうかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
13 項 目	特別支援教育について理解することができる。
学習目標・ポイント	「特別な支援を要する教育」とは、どんな教育かを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	インクルーシブ教育と現代教育の課題についての認識を深めることができる。
学習目標・ポイント	子どもの貧困・不登校・引きこもり・自殺・ニートについて、 教育者としてできることは何かを考える
使用する材料	資料プリント配布
備考	
15 項 目	レポート作成
学習目標・ポイント	教育学概論のまとめとして、課題に応じたレポートを作成する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育心理学(講義)
担 当 教 員	岡島 泰三
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期・後期
授 業 概 要 ・ 目 的	教育心理学を学ぶことで、学び方の基礎を習得する。 また、学生の集団や学生との関係の取り方を学ぶ。
到 達 目 標	学生の学びに関する多様な方法を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する 2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する 2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する 2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する 2. 実務上の業績 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

1 項 目	教育心理学とは？
学習目標・ポイント	教育心理学の基礎を学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
2 項 目	教育心理学とは？
学習目標・ポイント	自己紹介を通じて現在の話し方について知る。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
3 項 目	学習
学習目標・ポイント	古典的条件づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
4 項 目	学習
学習目標・ポイント	オペラント条件づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
5 項 目	学習
学習目標・ポイント	認知学習について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
6 項 目	学習
学習目標・ポイント	運動学習について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
7 項 目	動機づけ
学習目標・ポイント	内発的動機づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
8 項 目	動機づけ
学習目標・ポイント	外発的動機づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
9 項 目	知覚
学習目標・ポイント	知覚について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
10 項 目	知覚
学習目標・ポイント	知覚について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
11 項 目	認知
学習目標・ポイント	記憶について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
12 項 目	認知
学習目標・ポイント	記憶について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
13 項 目	認知
学習目標・ポイント	記憶について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
14 項 目	認知
学習目標・ポイント	思考について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
15 項 目	認知
学習目標・ポイント	注意について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	

16 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		対人認知について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
17 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		対人認知について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
18 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		自己について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
19 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		自己について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
20 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		集団について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
21 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		集団について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
22 項	目	感情
学習目標・ポイント		感情について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
23 項	目	感情
学習目標・ポイント		感情について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
24 項	目	性格
学習目標・ポイント		性格について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
25 項	目	知能
学習目標・ポイント		知能について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
26 項	目	臨床
学習目標・ポイント		障がい者について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
27 項	目	臨床
学習目標・ポイント		障がい者について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
28 項	目	臨床
学習目標・ポイント		精神疾患について学ぶ.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
29 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		模擬授業を行う.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
30 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		模擬授業を行う.
使用する材料		プリント PC DVD
備考		

平成医療学園 シラバス

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育方法(講義)
担 当 教 員	戸田 和樹
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	①教育人としての資質・素養について理解する。②教官の実践指導の実際などを通し、さまざまな教育技法を知り、実践的授業力を身につけることができる。
到 達 目 標	授業における教育技法および個に応じた教育のあり方、人間性を育う教育について考えることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)50%、平常授業30%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学Ⅰ・Ⅱ・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 2. 実務上の業績(臨床経験等) 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきつぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねてつどう」など 3. 研究業績 詩集「はんなりとした人々」二上書房 「嘘八景」新風舎 「日溜まりの中の灰」竹林館 童話「ゆーみいちゃん きせつをめぐる10のおはなし」新風舎 童話「ゆーみいちゃんのすてきなともだち」新風舎

1 項 目	授業において、大切にしたいのは「分かる」ことか「楽しさ」なのかを話し合うことができる。
学 習 目 標・ポ イ ン ト	生徒側からの「学ぶ楽しさ」の獲得についてそれぞれの考えを発表し合う。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布予定
備 考	
2 項 目	学習指導案の記述の仕方を知ることができる。
学 習 目 標・ポ イ ン ト	教材観・指導観・本時の目標・展開例・評価・板書例などの基本的な書き方を知る。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
3 項 目	「灸」の学習指導案の教材観を記述することができる。①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	「灸」の教材研究をもとに、主観を入れ込む表現としての教材観を記述する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
4 項 目	「灸」の学習指導案の教材観を記述することができる。②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	記述した教材観を配布し、読み合って、気がついたことを交流する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
5 項 目	師範授業見学から学んだことを記述し、話し合うことができる。
学 習 目 標・ポ イ ン ト	教師の師範授業を参観し、肯定的批評と批判的批評の在り方を考える
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
6 項 目	学習指導案の中の「展開例」「目標」「評価」の記述の仕方を知ることができる。
学 習 目 標・ポ イ ン ト	「灸」の学習を想定して、簡単な「展開例」を記述する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
7 項 目	模擬授業を30分間で行い、考えてことを交流することができる。
学 習 目 標・ポ イ ン ト	「発問」「示唆」や話し方・聞き方、板書の仕方などを視点にして観察する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
8 項 目	教材資料(パワーポイント)の作り方について、簡単な実践を行い、できた資料をもとに話し合うことができる。①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	教科書「鍼の種類と使用の仕方」についてのパワーポイント資料を作成する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
9 項 目	パワーポイント資料の発表を行い、批評し合う。②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	作成意図と的確な批評を行う。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
10 項 目	模擬授業①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	60分の授業と30分の話し合い
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
11 項 目	模擬授業②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	60分の授業と30分の話し合い
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
12 項 目	模擬授業③
学 習 目 標・ポ イ ン ト	60分の授業と30分の話し合い
使 用 す る 材 料	資料プリント
備 考	
13 項 目	模擬授業④
学 習 目 標・ポ イ ン ト	60分の授業と30分の話し合い
使 用 す る 材 料	資料プリント
備 考	
14 項 目	模擬授業⑤
学 習 目 標・ポ イ ン ト	60分の授業と30分の話し合い
使 用 す る 材 料	資料プリント
備 考	
15 項 目	模擬授業⑥
学 習 目 標・ポ イ ン ト	60分の授業と30分の話し合い
使 用 す る 材 料	資料プリント
備 考	

平成医療学園 シラバス

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育方法(演習)
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 (中 項 目)	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	教育実践を研究する立場として、授業計画・実践・実践報告を行うことができる。 資料作成や模擬授業など実践を繰り返し、教員に必要なスキルをみにつける。
到 達 目 標	教育実践を研究する立場として、授業計画・実践・実践報告を行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 3. 研究実績 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

平成医療学園 シラバス

1 項 目	効果的授業の進め方について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	実際の受けた授業からの考察する
使 用 す る 材 料	
備 考	
2 項 目	資料作成の方法について(板書・word・パワーポイント・その他について)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	実際に受けた授業から考察する
使 用 す る 材 料	
備 考	
3 項 目	資料作成の方法について(板書・word・パワーポイント・その他について)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	実際に受けた授業から考察する
使 用 す る 材 料	
備 考	
4 項 目	生成AIの利用法について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	情報社会の問題点について理解する
使 用 す る 材 料	
備 考	
5 項 目	オンデマンド授業に対応するための動画作成について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	授業内で10分程度の動画を作成する
使 用 す る 材 料	
備 考	
6 項 目	オンデマンド授業に対応するための動画作成について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	作成した動画を視聴し良い点悪い点について発表する
使 用 す る 材 料	
備 考	
7 項 目	オンデマンド授業に対応するための動画作成について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	授業内で10分程度の動画を作成する
使 用 す る 材 料	
備 考	
8 項 目	アクティブラーニングとは
学 習 目 標・ポ イ ン ト	主体的な学びを促す教え方・学習方法について
使 用 す る 材 料	
備 考	
9 項 目	アクティブラーニングとはの実践
学 習 目 標・ポ イ ン ト	30分程度の内容を作成する
使 用 す る 材 料	
備 考	
10 項 目	アクティブラーニングとはの実践
学 習 目 標・ポ イ ン ト	作成した内容を実践する
使 用 す る 材 料	
備 考	
11 項 目	実践報告12(30分報告 10分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学 習 目 標・ポ イ ン ト	自己の提案したい内容について報告する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
12 項 目	実践報告34(30分報告 10分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学 習 目 標・ポ イ ン ト	自己の提案したい内容について報告する。
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
13 項 目	実践報告56(30分報告 10分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学 習 目 標・ポ イ ン ト	自己の提案したい内容について報告する。
使 用 す る 材 料	実践報告資料
備 考	
14 項 目	鍼灸教育のあり方を見直し、今後の見通しを持つことができる。
学 習 目 標・ポ イ ン ト	
使 用 す る 材 料	資料プリント配布
備 考	
15 項 目	レポート作成
学 習 目 標・ポ イ ン ト	教育法法学Ⅱに関わる課題を通して、レポートを記述する。
使 用 す る 材 料	
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育実習
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	屋間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	各教職科目及び専門・専門基礎科目で履修し修得した知識や技術を基礎・基本にして、実際の専門学校現場で教育実習を行う。そのための事前指導また専門学校現場で実践的な指導を受ける。 また、学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を学び、工夫改善する態度を培わせる。更に教育実習を自己評価し教師としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探究させる。 実際の現場に立ち、学生と共に学び合い、自らの教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探究する。
到 達 目 標	①教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探究させる。 ②学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を体験させる。 ③授業を行う上での指導計画案の具体的な作成を行う。 ④社会人としてのエチケット、マナーの修得し実践する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 3. 研究業績 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システムティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項 目	授業ガイダンス
学習目標・ポイント	教育実習の進め方、注意事項について
使用する材料	
備考	
2 項 目	授業ガイダンス
学習目標・ポイント	聴講授業の決定
使用する材料	
備考	
3 項 目	授業聴講1
学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
使用する材料	
備考	
4 項 目	授業聴講2
学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
使用する材料	
備考	
5 項 目	授業聴講3
学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
使用する材料	
備考	
6 項 目	授業聴講レポート作成およびディスカッション1
学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
使用する材料	
備考	
7 項 目	授業聴講レポート作成およびディスカッション2
学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
使用する材料	
備考	
8 項 目	授業聴講レポート作成およびディスカッション3
学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
使用する材料	
備考	
9 項 目	鍼灸師養成校のカリキュラムについて(学校・単位・単位時間とは)
学習目標・ポイント	1条校学校とは？単位制とは？単位時間とは？
使用する材料	
備考	
10 項 目	鍼灸師養成校のカリキュラムについて(ガイドラインより)
学習目標・ポイント	養成校の設置基準やカリキュラムについて理解を深める
使用する材料	
備考	
11 項 目	理想とする時間割作成
学習目標・ポイント	実際に自身が必要と思う科目時間を考える
使用する材料	
備考	
12 項 目	理想とする時間割作成
学習目標・ポイント	実際に自身が必要と思う科目時間を考える
使用する材料	
備考	
13 項 目	1科目選択し15コマのシラバス作成
学習目標・ポイント	科目を担当したとしてシラバス作成をしてみる
使用する材料	
備考	
14 項 目	実施科目選択およびおよび指導教員との打合せ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
15 項 目	実施科目選択およびおよび指導教員との打合せ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

16 項	目	授業指導計画1の作成(教科担当による指導)
学習目標・ポイント		作成提出後、教科担当のアドバイスをうけ修正
使用する材料		
備考		
17 項	目	授業指導計画2の作成(教科担当による指導)
学習目標・ポイント		作成提出後、教科担当のアドバイスをうけ修正
使用する材料		
備考		
18 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 1回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
19 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 2回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
20 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 3回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
21 項	目	模擬授業1回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	模擬授業2回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	鍼灸師科で実際に授業を担当 1回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	鍼灸師科で実際に授業を担当 2回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	他の学生の授業見学
学習目標・ポイント		他者の授業を見学し、自身の気づきにつなげる
使用する材料		
備考		
30 項	目	教育実習レポート作成
学習目標・ポイント		教育実習を振り返り、自身の気づきにつなげる
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(講義)
担 当 教 員	種村 麻里
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、健康な人の形態と機能を学ぶ学問であり、すべての臨床医学の基礎となるものである。人体形態学論(講義)では、血液をはじめとする体液を循環させる循環器系、体に酸素を取り込み炭酸ガスを放出する呼吸器系、栄養を取り込む消化器系について学習する。
到 達 目 標	解剖学の循環器系、呼吸器系、消化器系について理解し、わかりやすく授業を行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験50%、レポート50%を合わせて100%で評価を行う。レポートの形式・内容については講義内で伝える。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成17年3月 明治東洋医学院専門学校 非常勤講師 生理学を担当する 平成17年2月～平成19年1月 大阪鳳林医療学院 鍼灸学科専任講師 生理学、公衆衛生学、鍼灸学実技を担当する 平成19年4月～平成22年3月 白鳳女子短期大学 非常勤講師 生理学、公衆衛生学を担当する 平成22年4月～現在に至る 阪奈中央リハビリテーション専門学校 非常勤講師 生理学を担当する 平成22年4月～現在に至る 奈良リハビリテーション専門学校 非常勤講師 生理学を担当する 平成23年4月～平成30年3月 白鳳短期大学 非常勤講師 生理学、公衆衛生学を担当する 平成29年4月～現在に至る 宝塚医療大学 非常勤講師 生理学、解剖学を担当する 令和5年4月～令和7年3月 大阪国際大学短期大学部栄養学科 非常勤講師 解剖生理学を担当する 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成12年4月～平成21年3月 医療法人宮武内科 非常勤職員として診療補助、臨床研究を行う 平成16年4月～平成31年3月 京都府立医科大学大学院地域医療保健疫学 研修員として在籍 令和6年4月～現在に至る 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野 招聘教員として在籍

1 項 目	循環器系:循環器系の概要と血管の構造
学 習 目 標・ポ イ ン ト	循環器系の概要と血管の構造について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
2 項 目	循環器系:心臓の構造
学 習 目 標・ポ イ ン ト	心臓の構造について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
3 項 目	循環器系:心臓の機能
学 習 目 標・ポ イ ン ト	心臓の機能について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
4 項 目	循環器系:動脈系、静脈系
学 習 目 標・ポ イ ン ト	動脈系、静脈系について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
5 項 目	循環器系:胎児循環、リンパ管系
学 習 目 標・ポ イ ン ト	胎児循環、リンパ管系について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
6 項 目	呼吸器系:鼻腔、副鼻腔、喉頭
学 習 目 標・ポ イ ン ト	鼻腔、副鼻腔、喉頭について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
7 項 目	呼吸器系:気管、肺
学 習 目 標・ポ イ ン ト	気管、肺について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
8 項 目	消化器系:消化管の基本構造、口腔
学 習 目 標・ポ イ ン ト	消化管の基本構造、口腔について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
9 項 目	消化器系:咽頭、食道、胃
学 習 目 標・ポ イ ン ト	咽頭、食道、胃について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
10 項 目	消化器系:小腸、大腸
学 習 目 標・ポ イ ン ト	小腸、大腸について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
11 項 目	消化器系:肝胆膵、腹膜
学 習 目 標・ポ イ ン ト	肝胆膵、腹膜について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
12 項 目	模擬授業1
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
13 項 目	模擬授業2
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
14 項 目	模擬授業3
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
15 項 目	模擬授業4
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(演習)
担 当 教 員	種村 麻里
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、健康な人の形態と機能を学ぶ学問であり、すべての臨床医学の基礎となるものである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(演習)では、運動器系、脈管系、神経系について学ぶ。
到 達 目 標	解剖学の運動器系、脈管系、神経系について理解し、わかりやすく授業を行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験50%、レポート50%を合わせて100%で評価を行う。レポートの形式・内容については講義内で伝える。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成17年3月 明治東洋医学院専門学校 非常勤講師 生理学を担当する 平成17年2月～平成19年1月 大阪鳳林医療学院 鍼灸学科専任講師 生理学、公衆衛生学、鍼灸学実技を担当する 平成19年4月～平成22年3月 白鳳女子短期大学 非常勤講師 生理学、公衆衛生学を担当する 平成22年4月～現在に至る 阪奈中央リハビリテーション専門学校 非常勤講師 生理学を担当する 平成22年4月～現在に至る 奈良リハビリテーション専門学校 非常勤講師 生理学を担当する 平成23年4月～平成30年3月 白鳳短期大学 非常勤講師 生理学、公衆衛生学を担当する 平成29年4月～現在に至る 宝塚医療大学 非常勤講師 生理学、解剖学を担当する 令和5年4月～令和7年3月 大阪国際大学短期大学部栄養学科 非常勤講師 解剖生理学を担当する 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成12年4月～平成21年3月 医療法人宮武内科 非常勤職員として診療補助、臨床研究を行う 平成16年4月～平成31年3月 京都府立医科大学大学院地域医療保健疫学 研修員として在籍 令和6年4月～現在に至る 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野 招聘教員として在籍

1 項 目	運動器系の総論
学 習 目 標・ポ イ ン ト	骨格系および筋系、脈管系、神経系の総論について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
2 項 目	全身の骨格:脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
3 項 目	体幹:体幹の筋、体幹の運動、体幹の局所解剖
学 習 目 標・ポ イ ン ト	体幹の筋、体幹の運動、体幹の局所解剖について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
4 項 目	体幹:体幹の脈管
学 習 目 標・ポ イ ン ト	体幹の脈管について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
5 項 目	体幹:体幹の神経
学 習 目 標・ポ イ ン ト	体幹の神経について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
6 項 目	上肢:上肢の筋、上肢の運動、上肢の局所解剖
学 習 目 標・ポ イ ン ト	上肢の筋、上肢の運動、上肢の局所解剖について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
7 項 目	上肢:上肢の脈管、上肢の神経
学 習 目 標・ポ イ ン ト	上肢の脈管、上肢の神経について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
8 項 目	下肢:下肢の筋、下肢の運動、下肢の局所解剖
学 習 目 標・ポ イ ン ト	下肢の筋、下肢の運動、下肢の局所解剖について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
9 項 目	下肢:下肢の脈管、下肢の神経
学 習 目 標・ポ イ ン ト	下肢の脈管、下肢の神経について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
10 項 目	頭頸部:頭頸部の筋、頭頸部の体表および局所解剖
学 習 目 標・ポ イ ン ト	頭頸部の筋、頭頸部の体表および局所解剖について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
11 項 目	頭頸部:頭頸部の脈管、頭頸部の末梢神経
学 習 目 標・ポ イ ン ト	頭頸部の脈管、頭頸部の末梢神経について理解する。
使 用 す る 材 料	配布資料
備 考	
12 項 目	模擬授業1
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
13 項 目	模擬授業2
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
14 項 目	模擬授業3
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	
15 項 目	模擬授業4
学 習 目 標・ポ イ ン ト	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使 用 す る 材 料	
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(実習)
担 当 教 員	泉谷 泰行
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、医学・医療を志す学生が学修する重要な学問の一つである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(実習)では、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系について学ぶ。
到 達 目 標	専門用語の単なる丸暗記ではなく、第三者、特に教員養成科においては解剖学の初学者である学生に対しわかりやすく説明することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

1 項 目	泌尿器系:腎臓
学習目標・ポイント	腎臓について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
2 項 目	泌尿器系:尿路
学習目標・ポイント	尿管、膀胱、尿道について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
3 項 目	生殖器系:男性生殖器
学習目標・ポイント	精巣、精路、外生殖器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
4 項 目	生殖器系:女性生殖器
学習目標・ポイント	卵巣、卵管、子宮、膣、外生殖器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
5 項 目	生殖器系:受精と発生
学習目標・ポイント	受精、卵割、着床、胚葉の形成、胎盤について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
6 項 目	内分泌系:下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体
学習目標・ポイント	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
7 項 目	内分泌系:副腎、膵臓、性腺
学習目標・ポイント	副腎皮質、副腎髄質、膵臓、性腺について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
8 項 目	神経系:神経系の構成、中枢神経系
学習目標・ポイント	神経系の構成、中枢神経系について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
9 項 目	神経系:伝導路、末梢神経系
学習目標・ポイント	伝導路、末梢神経系について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
10 項 目	感覚器系:視覚器
学習目標・ポイント	眼球、眼球の付属器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
11 項 目	感覚器系:平衡聴覚器
学習目標・ポイント	外耳、中耳、内耳について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
12 項 目	感覚器系:味覚器、嗅覚器
学習目標・ポイント	味覚器、嗅覚器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
13 項 目	模擬授業1
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
14 項 目	模擬授業2
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
15 項 目	模擬授業3
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(講義)
担 当 教 員	永瀬 佳孝
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	本授業では、最初に、神経系を構成する細胞の形態と機能、特にその電気現象について学習する。次いで運動の調節について学習し、脊髄や脳幹における反射を中心として要素的な運動調節のレベルから、脳幹・小脳・大脳基底核・大脳皮質など上位中枢による運動の調節
到 達 目 標	1神経細胞の電気現象について説明することができる。 2運動の調節について説明することができる。 3感覚から運動への変換について説明することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMM ACADEMY 郡山) (生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年3月まで) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)((2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る) 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成元年年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曽根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。 3、研究業績 https://www.tumh.ac.jp/course/teachers/shinkyu/nagase.html

1 項	目	生理学の基礎
学 習 目 標・ポイント		生理学を学ぶ意味
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
2 項	目	神経系の基礎
学 習 目 標・ポイント		神経系の構造、神経細胞、神経膠細胞
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
3 項	目	神経細胞の電気現象
学 習 目 標・ポイント		静止膜電位、活動電位、伝導
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
4 項	目	神経細胞の電気現象
学 習 目 標・ポイント		シナプス伝達、神経伝達物質と受容体
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
5 項	目	脊髄と反射
学 習 目 標・ポイント		伸張反射、自原抑制、拮抗抑制、屈曲反射、交叉性伸展反射
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
6 項	目	脳幹
学 習 目 標・ポイント		脳幹の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
7 項	目	小脳と大脳基底核
学 習 目 標・ポイント		小脳・大脳基底核の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
8 項	目	大脳皮質
学 習 目 標・ポイント		大脳皮質の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
9 項	目	高次脳機能
学 習 目 標・ポイント		記憶と運動機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
10 項	目	感覚器の一般と体性感覚
学 習 目 標・ポイント		感覚器の一般的な性質と触圧覚受容器の関連
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
11 項	目	視覚と聴覚
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
12 項	目	前庭感覚と眼球運動
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
13 項	目	味覚と聴覚
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
14 項	目	自律神経系
学 習 目 標・ポイント		自律神経系の求心路・遠心路
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
15 項	目	高次脳機能
学 習 目 標・ポイント		睡眠
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(演習)
担 当 教 員	永瀬 佳孝
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	本授業では、人体の機能学論(講義)から、各自Power Pointで授業を作成し、講義音声を入力し、mp4に変換して、オンデマンドの講義を作成する。
到 達 目 標	①オンデマンドの講義を作成することができる。 ②各学生の講義を参考に修正することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年3月まで) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)(2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る) 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成元年年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曽根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。 3、研究業績 https://www.tumh.ac.jp/course/teachers/shinkyu/nagase.html

1 項	目	生理学の基礎
学 習 目 標・ポイント		生理学を学ぶ意味
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
2 項	目	神経系の基礎
学 習 目 標・ポイント		神経系の構造、神経細胞、神経膠細胞
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
3 項	目	神経細胞の電気現象
学 習 目 標・ポイント		静止膜電位、活動電位、伝導
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
4 項	目	神経細胞の電気現象
学 習 目 標・ポイント		シナプス伝達、神経伝達物質と受容体
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
5 項	目	脊髄と反射
学 習 目 標・ポイント		伸張反射、自原抑制、拮抗抑制、屈曲反射、交叉性伸展反射
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
6 項	目	脳幹
学 習 目 標・ポイント		脳幹の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
7 項	目	小脳と大脳基底核
学 習 目 標・ポイント		小脳・大脳基底核の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
8 項	目	大脳皮質
学 習 目 標・ポイント		大脳皮質の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
9 項	目	高次脳機能
学 習 目 標・ポイント		記憶と運動機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
10 項	目	感覚器の一般と体性感覚
学 習 目 標・ポイント		感覚器の一般的な性質と触圧覚受容器の関連
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
11 項	目	視覚と聴覚
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
12 項	目	前庭感覚と眼球運動
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
13 項	目	味覚と聴覚
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
14 項	目	自律神経系
学 習 目 標・ポイント		自律神経系の求心路・遠心路
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
15 項	目	高次脳機能
学 習 目 標・ポイント		睡眠
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(実習)
担 当 教 員	永瀬 佳孝／内野 容子
科 目 名 (中 項 目)	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	本授業では、人体の機能学論(演習)から、各自伴野のみで授業を行う。授業の担当は無作為に行う。
到 達 目 標	1板書だけで講義をすることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	永瀬 佳孝 1. 担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年3月まで) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)(2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る) 2. 実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成元年年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曽根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師として実務経験あり。 3. 研究業績 https://www.tumh.ac.jp/course/teachers/shinkyu/nagase.html 内野容子 1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 3. 研究業績 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項	目	生理学の基礎
学 習 目 標・ポイント		生理学を学ぶ意味
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
2 項	目	神経系の基礎
学 習 目 標・ポイント		神経系の構造、神経細胞、神経膠細胞
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
3 項	目	神経細胞の電気現象
学 習 目 標・ポイント		静止膜電位、活動電位、伝導
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
4 項	目	神経細胞の電気現象
学 習 目 標・ポイント		シナプス伝達、神経伝達物質と受容体
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
5 項	目	脊髄と反射
学 習 目 標・ポイント		伸張反射、自原抑制、拮抗抑制、屈曲反射、交叉性伸張反射
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
6 項	目	脳幹
学 習 目 標・ポイント		脳幹の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
7 項	目	小脳と大脳基底核
学 習 目 標・ポイント		小脳・大脳基底核の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
8 項	目	大脳皮質
学 習 目 標・ポイント		大脳皮質の構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
9 項	目	高次脳機能
学 習 目 標・ポイント		記憶と運動機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
10 項	目	感覚器の一般と体性感覚
学 習 目 標・ポイント		感覚器の一般的な性質と触圧覚受容器の関連
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
11 項	目	視覚と聴覚
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
12 項	目	前庭感覚と眼球運動
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
13 項	目	味覚と聴覚
学 習 目 標・ポイント		構造と機能
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
14 項	目	自律神経系
学 習 目 標・ポイント		自律神経系の求心路・遠心路
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介
15 項	目	高次脳機能
学 習 目 標・ポイント		睡眠
使 用 す る 材 料		
備 考		参考文献を授業で紹介

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	社会医学特論(講義)
担 当 教 員	山口 敬治
カリキュラム名	社会医学特論(講義)
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	基本は単元毎の授業を行うが、公衆衛生上の特筆する事例発生時には、集中的にその事例ならびにその周辺について解説し、社会、生活、制度の関連を理解する。令和7年度の例、「103万円の壁」「ローマ法王の死去」「少年犯罪」「熊害と害獣駆除」「台湾の歴史」「言論の自由と名誉毀損」
到 達 目 標	公衆衛生学の歴史と現状を理解し、各単元の理論を説明できるようになること。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 レポートと模擬講義のプレゼンテーションならびに平常点で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 昭和63年10月から平成2年9月 ザンビア大学獣医学部 上級講師 寄生虫学・公衆衛生学担当 平成29年4月から令和6年3月 大手前大学栄養学部 非常勤准教授 食品衛生学実習担当 平成30年4月から令和2年3月 大手前学園専門学校 非常勤准教授 公衆衛生学担当 平成30年4月から現在 平成医療学園専門学校 非常勤講師 衛生学・公衆衛生学担当 平成30年4月から令和8年3月 大阪調理・製菓専門学校 非常勤講師 公衆衛生学担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 3. 研究業績 ○ 山口敬治(2002): 低脂肪乳による大規模食中毒の発生原因と今後の対応, 日本食品微生物学雑誌, 19(4), 151-155 ○ Aroon BANGTRAKULNONT, Srirat PORNRUNGWONG, Chaiwat PULSRIKARN, Sumaree BOONMAR, and Keiji YAMAGUCHI (2006): Recovery of Salmonella Using a Combination of Selective Enrichment Media and Antimicrobial Resistance of Isolates in Meat in Thailand, Southeast Asian J. Trop. Med. Public Health, 37, 742-746 ○ 山口敬治, 葛間明美, 森本洋, 池田徹也(2007): DNAフラグメント多型解析法による食中毒事例分離Bacillus cereus菌株の系統解析, 北海道立衛生研究所報, 57, 69-72 ○ 山口敬治, 池田徹也, 森本 洋(2008): 北海道においてまれに分離される血清型の志賀毒素産生性大腸菌の性状, 北海道立衛生研究所報, 58, 43-46 ○ 山口敬治, 池田徹也, 熊田洋行, 玉手直人, 森本 洋, 清水俊一, 駒込理佳(2008): 北海道における食中毒事例から分離された腸炎ビブリオ血清型の推移, 北海道立衛生研究所報, 58, 99-100 ○ 池田徹也, 森本 洋, 清水俊一, 駒込理佳, 山口敬治(2008): 黄色ブドウ球菌検出培地の性能比較, 北海道立衛生研究所報, 58, 47-50 ○ 清水俊一, 森本 洋, 駒込理佳, 山口敬治(2008): 北海道における食中毒発生状況(2003-2007), 北海道立衛生研究所報, 58, 95-98 ○ 山口敬治, 池田徹也, 森本 洋(2009): 北海道で分離されたバンコマイシン耐性腸球菌の分子疫学解析, 北海道立衛生研究所報, 59, 57-60 ○ Keiko OGAWA, Keiji YAMAGUCHI, Masatsugu SUZUKI, Toshio TSUBOTA, Kenji OHYA and Hideto FUKUSHI (2011): Genetic Characteristics and Antimicrobial Resistance of Escherichia coli from Japanese Macaques (Macaca fuscata) in Rural Japan, J. Wildlife Diseases, 47(2), 261-270 ○ Tadasuke OOKA, Kazuko SETO, Kimiko KAWANO, Hideki KOBAYASHI, Yoshiki ETOH, Sachiko ICHIHARA, Akiko KANEKO, Junko ISOBE, Keiji YAMAGUCHI, Kazumi HORIKAWA, Tânia A.T. GOMES, Annick LINDEN, Marjorie BARDIAU, Jacques MAINIL, Lothar BEUTIN, Yoshitoshi OGURA, and Tetsuya HAYASHI(2012): Significant Prevalence of Escherichia albertii among the Strains Identified as Enteropathogenic and Enterohemorrhagic E. coli and the Presence of Shiga Toxin-producing E. albertii strains, Emerging Infect. Dis. ○ Keiko OGAWA, Keiji YAMAGUCHI, Masatsugu SUZUKI, Toshio TSUBOTA, Kenji OHYA and Hideto FUKUSHI (2011): Genetic Characteristics and Antimicrobial Resistance of Escherichia coli from Japanese Macaques (Macaca fuscata) in Rural Japan, J. Wildlife Diseases, 47(2), 261-270 ○ Tadasuke OOKA, Kazuko SETO, Kimiko KAWANO, Hideki KOBAYASHI, Yoshiki ETOH, Sachiko ICHIHARA, Akiko KANEKO, Junko ISOBE, Keiji YAMAGUCHI, Kazumi HORIKAWA, Tânia A.T. GOMES, Annick LINDEN, Marjorie BARDIAU, Jacques MAINIL, Lothar BEUTIN, Yoshitoshi OGURA, and Tetsuya HAYASHI(2012): Significant Prevalence of Escherichia albertii among the Strains Identified as Enteropathogenic and Enterohemorrhagic E. coli and the Presence of Shiga Toxin-producing E. albertii strains, Emerging Infect. Dis.

1 項 目	公衆衛生概論
学習目標・ポイント	公衆衛生の定義について複数の説明を用いて、公衆衛生というものを理解を深める。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
2 項 目	公衆衛生と社会(歴史含む)
学習目標・ポイント	公衆衛生の社会における意義と公衆衛生向上に関し世論構築との関係性を考える。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
3 項 目	公衆衛生行政
学習目標・ポイント	我が国における公衆衛生行政について国と自治体の関係を関係法令を元に理解を深める。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
4 項 目	医療行政
学習目標・ポイント	我が国における医療行政について国と自治体の関係を関係法令を元に理解を深める。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
5 項 目	健康の概要
学習目標・ポイント	健康、疾病などの定義と健康管理、健康保持について理解を深める。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
6 項 目	健康管理
学習目標・ポイント	健康管理について重要点を考え、健康保持の重要性について理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
7 項 目	ライフスタイルと健康
学習目標・ポイント	我が国のライフスタイルの歴史をまなび社会制度との関連を深く理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
8 項 目	食品衛生
学習目標・ポイント	食品衛生について、行政活動や食中毒発生時の対策などを理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
9 項 目	食品表示・添加物
学習目標・ポイント	整備統合された食品表示を理解し、添加物の使用についてその背景(歴史含む)と現状を理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
10 項 目	自然環境
学習目標・ポイント	気候変動など近年言われる自然環境と人類との関係ならびに世界政治との関連を理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
11 項 目	公害
学習目標・ポイント	日本の四大公害について理解し、それに至る経済発展や公害対策(歴史含む)について理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
12 項 目	生活衛生
学習目標・ポイント	生活する上で必要な衛生に関する社会基盤をまなび、ライフライン維持について深く理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
13 項 目	廃棄物処理・リサイクル
学習目標・ポイント	廃棄物の処理と3Rについて学び、現状と目標について理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
14 項 目	母子保健
学習目標・ポイント	妊娠出産から幼児までの保健行政サービスと法令根拠について理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
15 項 目	学校保健
学習目標・ポイント	小学校から修飾までの学生時代の保健活動について理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。

16 項	目	産業保健
学習目標・ポイント		就職したのち退職するまでの保健活動の構造や法的根拠、さらには職種による疾病を理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
17 項	目	労働条件と労働者保護
学習目標・ポイント		労働基本法をはじめとする労働者保護の法的システムを学ぶ。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
18 項	目	精神保健
学習目標・ポイント		近年増加する精神保健の問題について社会の現状とともに学び理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
19 項	目	高齢者保健
学習目標・ポイント		老後の健康維持、介護、認知症対策など高齢者保健の制度と活動を学ぶ。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
20 項	目	生活習慣病
学習目標・ポイント		生活習慣病発生にいたるメカニズムを理解し、防止するための手段を学び説明できるようにする。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
21 項	目	年金・健康保健
学習目標・ポイント		年金保険、健康保健など社会福祉システムを根拠法とともに体系的に理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
22 項	目	年金・健康保険
学習目標・ポイント		年金保険、健康保健など社会福祉システムを根拠法とともに体系的に理解し説明できるようにする。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
23 項	目	感染症1
学習目標・ポイント		感染症の原因物質、流行の現状、対策までの流れの基本と法的根拠を理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
24 項	目	感染症2
学習目標・ポイント		近年流行する個別の感染症について理解を深め説明できるようにする。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
25 項	目	感染症3
学習目標・ポイント		新年度になり問題になっている感染症について重点的に学び説明できるようにする。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
26 項	目	消毒法
学習目標・ポイント		殺菌、消毒などの言葉を理解し、各種消毒法について理解を深める。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
27 項	目	疫学1
学習目標・ポイント		疫学に関する言葉の定義への理解を深め、使用される疫学方法について説明できるようにする。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
28 項	目	疫学2
学習目標・ポイント		疫学に関し、とくに重要な症例対照研究とコホート研究について深く理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
29 項	目	衛生統計1
学習目標・ポイント		衛生統計について定義、測定方法などを学び、その違いを深く理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
30 項	目	衛生統計2
学習目標・ポイント		特に人口の変化を予測する、合計特殊出生率などの歴史と推移を学び、深く理解する。
使用する材料		プレゼンテーションファイルで実施。
備考		項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床論(講義)1
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学特論
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	各種の治療法や理論と応用を身につける
到 達 目 標	各種治療法の基礎理論と応用を理解し説明出来るようになる
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 経筋とアノミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 アノミー・トレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 経筋流注とアノミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアノミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 ほか

1 項 目	子午流注鍼法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	子午流注鍼法の概要・理論を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
2 項 目	動作時痛に対する『難経』六十九難の応用
学 習 目 標・ポ イ ン ト	運動器疾患に対して『難経』六十九難の臨床応用を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
3 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脈診・基本理論を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
4 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脈診・病脈を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
5 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脈診・六綱脈(浮綱脈・沈綱脈)を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
6 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脈診・六綱脈(遅綱脈・数綱脈)を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
7 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	脈診・六綱脈(虚綱脈・実綱脈)を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
8 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	腹診法・『難経』に基づいた腹診法を理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
9 項 目	切診
学 習 目 標・ポ イ ン ト	切経について理解する
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
10 項 目	長野式治療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	基本理論
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
11 項 目	長野式治療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	種々の診察法
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
12 項 目	長野式治療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	処置法
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
13 項 目	長野式治療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	処置法
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
14 項 目	長野式治療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	分野別各疾患処置
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	
15 項 目	長野式治療法
学 習 目 標・ポ イ ン ト	分野別各疾患処置
使 用 す る 材 料	PDF、プリント
備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床論(講義)2
担 当 教 員	宮 崎 潤二
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学特論
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	あはき臨床は経験的、実証的学問である。臨床医学において必要なエビデンスの考え方から、東洋医学においても臨床を理解し、その効果やメカニズムを検証することは重要である。本演習では、あはき臨床を検証するために必要な考え方や知識を自ら理解し、実践できるようにすることを目的とする。
到 達 目 標	1. あはき臨床の強みと限界を知ることができる。 2. あはきの応用分野を理解しエビデンスレベルを知っている。 3. あはき臨床に関連する基礎的メカニズムを知っている。 4. あはきの効果検証に必要なさまざまな評価方法を知っている。 5. あはき臨床に対して批判的吟味ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。

教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年5月～平成16年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 教員助手 教務事務、基礎医学系授業補助 平成16年4月～平成25年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 専任教員 基礎医学、鍼灸学に関する講義 平成23年4月～平成25年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 非常勤講師 臨床鍼灸の実技講義、外来臨床に従事 平成25年4月～平成30年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 講師(専任) 鍼灸学に関する講義、学生管理、外来臨床 平成30年4月～平成31年3月 熊本大学大学院生命科学研究部附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター 特定事業教員 令和2年4月～令和3年3月 公益財団法人 神戸市医療産業都市推進機構 クラスタ推進センター研究員 研究の管理運営、データ解析 令和3年4月～6月 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 共同研究員 令和3年6月～令和6年3月 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 特任助教 令和6年4月～現在 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 訪問助教 コホート研究の管理運営、データ解析 令和4年9月～令和6年3月 国立循環器病研究センター 非常勤研究員 令和6年4月～現在 国立循環器病研究センター 客員研究員 平成29年4月～令和6年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事 令和6年4月～現在 常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任助教 大学院生の教育、実習指導、コホート研究の運営管理 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成14年4月～平成30年3月 大阪医科大学麻酔科学教室・附属病院麻酔科外来 実習生 麻酔科外来による鍼灸臨床、および臨床研究に従事
---------	--

1 項 目	オリエンテーション
学 習 目 標・ポ イ ン ト	本講義の概要とスケジュール説明
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
2 項 目	あはきの臨床効果について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	臨床医学とはなにか、あはきにおける臨床とはなにかについて議論できる。
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
3 項 目	あはきの予防医学的効果について
学 習 目 標・ポ イ ン ト	あはきの予防医学的効果や未病について発表する。
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
4 項 目	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
5 項 目	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
6 項 目	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
7 項 目	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	内科系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
8 項 目	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
9 項 目	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
10 項 目	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
11 項 目	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
12 項 目	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略
学 習 目 標・ポ イ ン ト	運動器系疾患の東洋医学的診断と治療戦略について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
13 項 目	難治性疾患に対する鍼灸アプローチと症例研究
学 習 目 標・ポ イ ン ト	難治性疾患に対する鍼灸アプローチと症例について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
14 項 目	難治性疾患に対する鍼灸アプローチと症例研究
学 習 目 標・ポ イ ン ト	難治性疾患に対する鍼灸アプローチと症例について発表する
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
15 項 目	あはき臨床におけるバイオマーカーとのエビデンスについて
学 習 目 標・ポ イ ン ト	東洋医学における診断的価値とエビデンスについて議論できる
使 用 す る 材 料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備 考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床応用学(演習)
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学特論
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	東洋医学や鍼灸治療について、それぞれの視点で観察、考察して資料を作成し、発表する
到 達 目 標	東洋医学や鍼灸治療について、既存の考え方を真似るのではなく、それぞれがそれぞれの視点で観察、考察できるようになる
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 経筋とアノミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 アノミー・トレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 経筋流注とアノミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究：一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアノミー・トレインの走行の比較に関する研究 ―筋筋膜の一致率、類似点と相違点における考察― 令和6年9月 明治国際医療大学誌 ほか

1 項	目	一年次の復習
学 習 目 標・ポ イ ン ト		一年次で学んだ各療法について復習する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
2 項	目	一年次の復習2
学 習 目 標・ポ イ ン ト		一年次で学んだ各療法について復習する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
3 項	目	舌診
学 習 目 標・ポ イ ン ト		舌診について基本的理論を理解する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
4 項	目	時間と臓腑の関係について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		時間と臓腑の関係について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
5 項	目	『難経』六十九難の臨床応用について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		『難経』六十九難の臨床応用について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
6 項	目	鍼灸における手技(刺鍼法や選穴法など)について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		鍼灸における手技について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
7 項	目	脈診・基本理論について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		脈診・基本理論について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
8 項	目	脈診の種類・方法について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		脈診の種類・方法について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
9 項	目	脈診・病脈について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		脈診・病脈について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
10 項	目	脈診・六綱脈について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		脈診・六綱脈について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
11 項	目	腹診法・切経について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		腹診法・切経について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
12 項	目	舌診について
学 習 目 標・ポ イ ン ト		舌診について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
13 項	目	東洋医学的診断法について1
学 習 目 標・ポ イ ン ト		東洋医学的診断法について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
14 項	目	東洋医学的診断法について2
学 習 目 標・ポ イ ン ト		東洋医学的診断法について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		
15 項	目	東洋医学的診断法について3
学 習 目 標・ポ イ ン ト		東洋医学的診断法について調べ考え発表する
使 用 す る 材 料		PDF、プリント
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習①
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち203時間を久保が担当
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。

教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表 体格指数に基づく東洋医学的体質と肥満関連遺伝子型の関連性について健康・食習慣からの検討:横断研究 令和3年1月 日本生物高分子学会 体格指数(BMI)に及ぼす3種類の肥満関連遺伝子変異の影響 令和4年6月 日本食育学術会議 第16回大会一般発表 経筋とアトミー・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 体格指数(BMI)に及ぼす海藻類摂取頻度と肥満関連遺伝子(UCP-1 遺伝子)変異の関係 令和5年6月 日本食育学術会議 第17回大会一般発表 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 アトミー・トレイン・アームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 体格指数(BMI)に関与する肥満関連遺伝子 FTO(rs9939609)変異及び生活習慣等の男女差に関する横断研究 令和5年12月 第22回日本栄養改善学会近畿支部学術総会一般発表 経筋流注とアトミー・トレインの走行の類似性と相違性に対する研究:一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアトミー・トレインの走行の比較に関する研究—筋筋膜の一致率, 類似点と相違点における考察— 令和6年9月 明治国際医療大学誌
----------------	---

教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成31年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表
1 項 目	1～116 施術所における実習を行う。
学 習 目 標 ・ ポ イ ン ト	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習②
担 当 教 員 名	奈良 上真
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち67時間を奈良が担当
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床ができることを目的とする。また、四診法に基づいた診察法を客観評価でき、収集した身体情報を弁証分析し、治療方針を明確にし、鍼灸配穴(理由を明確)を確定することを目的とする。
到 達 目 標	中医学基礎理論が理解できる。中医診察技法(舌脈診法)を実践し演じることができる。弁証分析や治療方針を確定し説明できる。鍼灸配穴を配穴理由を明確に説明することができる。総合的に中医学の観点から症例報告ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験を70%、各授業でのカルテ作成の提出を30%合わせて100%で評価を行う。(尚、カルテ作成は、症例作成とする。症例数は15症例とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと。 無断で教室からの退出を禁止する。水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。 中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床実習を実施するので、事前に、中医学基礎理論を学び直しのこと。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 2009(平成21)年4月～2020(令和3)年3月。 大阪医療技術学園専門学校において東洋医療技術教員養成学科教員および学科長として東洋医学特論、鍼灸臨床学、鍼灸応用学、鍼灸臨床実習、原典(古典)閲読を担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 2004(平成16)年4月～現在 奈良鍼灸治療院青雲堂にて鍼灸師、院長として勤務。 3. 研究業績(執筆) 1) 鍼灸医学大辞典:奈良上真ら(共著)、医歯薬出版、2012年。 2) 鍼灸美容学:奈良上真ら(共著)、静風社、2016年。 3) 小児鍼の伝承技術の考察 ―暗黙知から形式知への検討―:奈良上真、日本小児はり学会会誌、2019。 4) 意念・意守をもちいた補瀉手技:奈良上真、中医臨床、2012年。 5) 婦人科疾患における中医診療の実践:奈良上真、日本良導絡自律神経学会雑誌、2006 6) 中医学の臨床・基礎知識:鍼灸OSAKA、1998年。 7) 「得気」(鍼のひびき)についての文献的考察:奈良上真、明治鍼灸医学、1991年。

1 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床の基本概要から臨床応用が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学基礎理論の基本概要を理解していること。
2 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床の基本概要から臨床応用が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学基礎理論の基本概要を理解していること。
3 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、肝系病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的肝系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的肝の基本的生理機能を理解していること。
4 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、肝系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 古典文献による肝系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的肝の基本的生理機能を理解していること。
5 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、腎系病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的腎系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的腎の基本的生理機能を理解していること。
6 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、腎系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 古典文献による腎系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的腎の基本的生理機能を理解していること。
7 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、脾系病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的脾系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的脾の基本的生理機能を理解していること。
8 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、脾系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 古典文献による脾系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的脾の基本的生理機能を理解していること。
9 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、肺系病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的肺系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的肺の基本的生理機能を理解していること。
10 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、肺系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 古典文献による肺系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的肺の基本的生理機能を理解していること。
11 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、心系病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的心系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的心の基本的生理機能を理解していること。
12 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、心系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 古典文献による心系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的心の基本的生理機能を理解していること。
13 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、脳系病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的脳系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的脳の基本的生理機能を理解していること。
14 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、脳系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 古典文献による脳系病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学的脳の基本的生理機能を理解していること。
15 項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、経絡病症の基礎について。
学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、 基本的経絡病症 が理解できる。
使用する材料	配布資料
備考	中医学の基本的経絡流注を理解していること。

31 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、耳鼻咽喉科系病症の基礎について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、耳鼻咽喉科系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的耳鼻咽喉科系病症を理解していること。
32 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、耳鼻咽喉科系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、古典文献による耳鼻咽喉科系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的耳鼻咽喉科系病症を理解していること。
33 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、耳鼻咽喉科系病症の基礎について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、耳鼻咽喉科系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的耳鼻咽喉科系病症を理解していること。
34 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、耳鼻咽喉科系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、古典文献による耳鼻咽喉科系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的耳鼻咽喉科系病症を理解していること。
35 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、難病系病症の基礎について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、難病系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的蔵象学説を理解していること。
36 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、難病系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、古典文献による難病系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的蔵象学説を理解していること。
37 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、難病系病症の基礎について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、難病系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的蔵象学説を理解していること。
38 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、難病系病症の古典文献について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、古典文献による難病系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学の基本的蔵象学説を理解していること。

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅうケースカンファレンス
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	1(45)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて行った治療に対し事例検討を行い、解決すべき内容を含み事実について、その状況・原因・対策を明らかにする。
到 達 目 標	①ケースカンファレンスによって患者の理解を深め、そこを起点として対人援助の視点から今後の援助または治療方針を導き出す。 ②自身の症例を発表することによって、プレゼンテーション能力を高める。 ③他者の症例を検討することによって、分析・検討・治療方針計画の実践力を高める。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。

教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 令和2年4月～令和5年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 臨床実習を担当 令和6年4月～現在 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科教員 臨床実習を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～令和6年3月 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～令和6年3月 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 令和6年4月～令和7年3月 平成クリニック リハビリテーション科に柔道整復師として勤務 3. 研究業績 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表 体格指数に基づく東洋医学的体質と肥満関連遺伝子型の関連性について健康・食習慣からの検討:横断研究 令和3年1月 日本生物高分子学会 体格指数(BMI)に及ぼす3種類の肥満関連遺伝子変異の影響 令和4年6月 日本食育学会 第16回大会一般発表 経筋とアノミ・トレインの走行の類似点と相違点に対する研究 令和5年6月 全日本鍼灸学会 学術大会一般発表 胃熱および脾虚と喫煙習慣との関連に関する横断研究 令和5年6月 第72回全日本鍼灸学会学術大会 体格指数(BMI)に及ぼす海藻類摂取頻度と肥満関連遺伝子(UCP-1 遺伝子)変異の関係 令和5年6月 日本食育学会 第17回大会一般発表 体格指数(BMI)に影響を及ぼす肥満関連遺伝子FTO(rs9939609)と生活習慣等に関する横断研究 令和5年9月 第70回日本栄養改善学会学術総会一般発表 アノミ・トレインアームラインの走行と手の経筋との関連性について 令和5年10月 第51回日本伝統鍼灸学会学術大会一般発表 体格指数(BMI)に関与する肥満関連遺伝子 FTO(rs9939609)変異及び生活習慣等の男女差に関する横断研究 令和5年12月 第22回日本栄養改善学会近畿支部学術総会一般発表 経筋流注とアノミ・トレインの走行の類似性と相違点に対する研究:一致する筋の数を指標に考えた類似点と相違点 令和6年7月 日本伝統鍼灸学会 経筋流注とアノミ・トレインの走行の比較に関する研究—筋筋膜の一致率, 類似点と相違点における考察— 令和6年9月 明治国際医療大学誌
----------------	--

教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表
1 項 目	1～23 自ら担当した患者の症例を発表し、客観的に症例について再度検討を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、症例をもとに、病態把握や治療方針、治療方法について検討をおこなう。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション能力を養う。 客観的に症例を検討することによって、分析・検討・実践力を高める。
使用する材料 備 考	

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	研究法
担 当 教 員	比嘉 翔平
カ リ キ ュ ラ ム 名	研究とその方法
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	研究について理解する。
到 達 目 標	研究手法および研究倫理について理解し、仮説を立て、それに関連した文献の調査および研究計画の立案と実践ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 プレゼン(40%)と研究計画の立案(60%)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センター実習(3年生)の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月: 明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目:「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月: 明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) 2018年4月～2023年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2019年4月～2021年9月: 京都桂川鍼灸院mythos361での施術(大学院) 3. 研究業績 2018年: 第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表(優秀賞) 2019年: 第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年: 第50回日本慢性疼痛学会 口演発表(Web発表) 2022年: 第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年: 第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表

1 項	目	オリエンテーション
学 習 目 標・ポイント		講義の概要、注意事項、スケジュール説明など
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		PC使用
2 項	目	研究について
学 習 目 標・ポイント		研究の概要、研究倫理について
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		PC使用
3 項	目	仮説の設定
学 習 目 標・ポイント		リサーチクエスションについて理解する。
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		PC使用
4 項	目	研究デザインについて
学 習 目 標・ポイント		研究デザインの種類、選択、特徴について理解する。
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		PC使用
5 項	目	統計解析について1
学 習 目 標・ポイント		統計手法について理解する。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
6 項	目	統計解析について2
学 習 目 標・ポイント		統計手法を選択できる。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
7 項	目	文献検索について
学 習 目 標・ポイント		文献の検索方法について理解する。
使 用 す る 材 料		プリント、PC等のデバイス
備 考		
8 項	目	論文について1
学 習 目 標・ポイント		論文の構造について理解する。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
9 項	目	論文について2
学 習 目 標・ポイント		論文を要約できる(PICO/PECO)
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
10 項	目	研究計画1
学 習 目 標・ポイント		仮説の設定ができる。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
11 項	目	研究計画2
学 習 目 標・ポイント		関連文献を検索する。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
12 項	目	研究計画3
学 習 目 標・ポイント		研究計画を立案する。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
13 項	目	研究計画4
学 習 目 標・ポイント		研究計画を立案する。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
14 項	目	研究計画5
学 習 目 標・ポイント		自身の研究計画のプレゼンができる。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		
15 項	目	研究計画6
学 習 目 標・ポイント		自身の研究計画のプレゼンができる。
使 用 す る 材 料		PC等のデバイス
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	卒業論文
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	研究とその方法
単 位 数 (時 間 数)	4(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教員の指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	①自らの研究テーマを立案することが出来る。 ②文献等の検索、収集を実践できる。 ③情報を吟味し、必要なものを選択することが出来る。 ④適切な研究計画を作成することが出来る。 ⑤研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章化することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度、提出物(卒業論文)で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 3. 研究業績 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項 目	授業ガイダンス
学習目標・ポイント	卒業論文作成までの流れ説明
使用する材料	
備考	
2 項 目	卒業論文の書き方について
学習目標・ポイント	論文規定についてデータベース検索の方法について
使用する材料	
備考	
3 項 目	卒業論文の書き方について
学習目標・ポイント	論文規定についてデータベース検索の方法について
使用する材料	
備考	
4 項 目	研究テーマの検討
学習目標・ポイント	興味のあるいくつかのテーマを決めデータベース検索を行う
使用する材料	
備考	
5 項 目	研究計画の作成
学習目標・ポイント	実際にテーマを決め計画を立てる
使用する材料	
備考	
6 項 目	研究計画の作成
学習目標・ポイント	実際にテーマを決め計画を立てる
使用する材料	
備考	
7 項 目	研究計画の作成
学習目標・ポイント	実際にテーマを決め計画を立てる
使用する材料	
備考	
8 項 目	研究計画の報告
学習目標・ポイント	目的・方法を提出
使用する材料	
備考	
9 項 目	事前研究
学習目標・ポイント	各自テーマに沿った研究を行う
使用する材料	
備考	
10 項 目	事前研究
学習目標・ポイント	各自テーマに沿った研究を行う
使用する材料	
備考	
11 項 目	研究計画の再検討
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
12 項 目	研究
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
13 項 目	研究
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
14 項 目	中間報告
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
15 項 目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	